

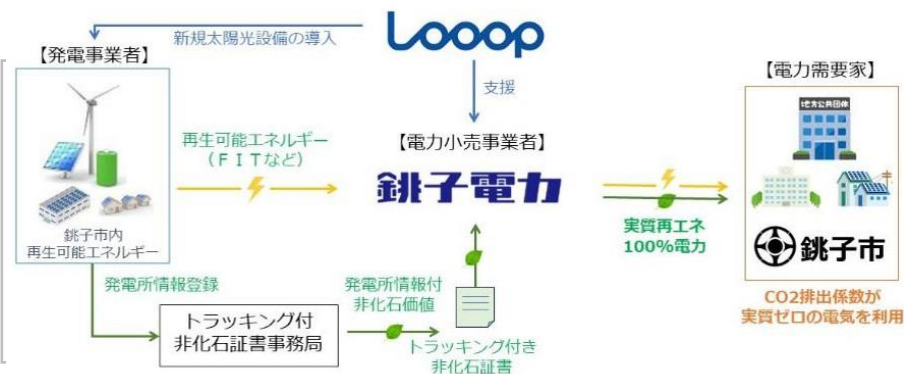


- 社名(商号)： 株式会社L o o o p
- 本社所在地： 東京都台東区上野3丁目24-6
- 事業エリア： 全国
- 定格容量： 61MW (全国38事業)
- 公式HP： <https://www.loop.co.jp>

取組み事例：官民連携による地域新電力を活用した地域活性化の取り組み

取組み概要

- ・市の電気料金を初年度約740万円削減
- ・L o o o pが市内の陸上風力発電所「銚子ウィンドファーム」(運営：コスモエコパワー株式会社)などの電力を調達し、地域新電力「銚子電力」が販売する仕組みで**電力の地産地消を実現**しています。
- ・住民向けに「子育て割」、市外居住者に銚子の特産品が届く「銚子ふるさとプラン」、経営難の地元の鉄道会社を応援する「銚子電鉄でんき」など、**住民のニーズに沿ったサービスを開発し**、3年で黒字化を達成しています。



事業者	株式会社L o o o p	所在	千葉県銚子市
協力者	銚子市	施設名(用途)	
		スケジュール	2018年6月26日、銚子電力を設立

取組み事例：環境大臣賞受賞のスマートコミュニティ

取組み概要

- さいたま市の脱炭素先進モデル街区にて、屋根置き太陽光、蓄電池、EVなどを活用し、スマートシティのためのエネルギーマネジメントシステム「エネプラザ」を構築。
- 51軒の住宅で太陽光、蓄電池、EVにより再エネを融通。かつ、給湯器を使った再エネの最大活用と、発電量に応じた料金設定等により、住民の行動変容を促す。
- これにより、電力使用量の約60%を再エネで賄う。（通常の住宅用屋根置き太陽光では、だいたい30%）
- さらに、非化石証書を活用した実質再エネを供給することにより、街区内で「100%再エネ」を達成。
- 街区外で停電が起きた場合にも自立運転が可能であり、レジリエンスの高いコミュニティを作っている。

事業者	さいたま市、株式会社L o o o p
協力者	住宅メーカー3社など
所在地	埼玉県さいたま市
施設名(用途)	エネプラザ（エネルギーマネジメントシステム） E-Forest（住宅街区）
スケジュール	2019年度FS 2020～21年度にて設備導入・構築

取組のきっかけ、課題/工夫点等

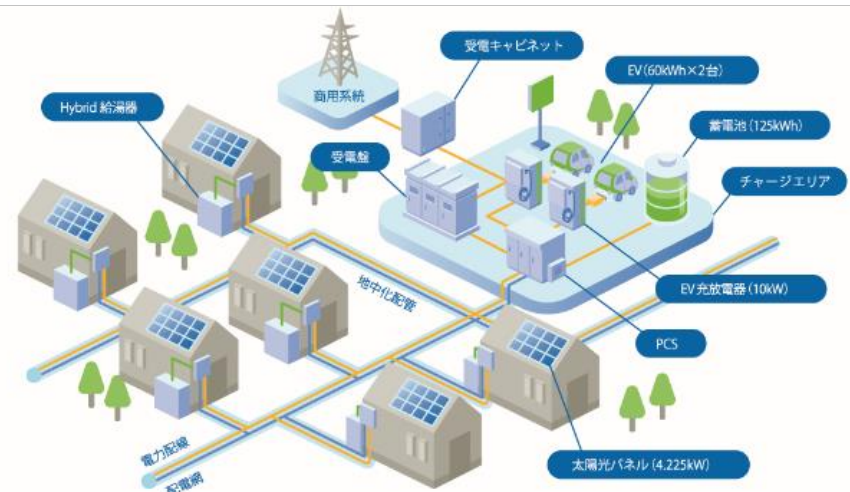
- さいたま市が進める「スマートシティさいたまモデル」構築に向けた事業パートナーとして、2019年より共同でFSを開始。
- 環境省の補助事業(脱炭素イノベーション構築事業)へさいたま市と共同申請し、環境性、安定性、経済性を考慮した特定供給によるスマートシティを構築。
- 「令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰」を受賞



導入設備詳細

発電容量	発電設備：228.735kW 蓄電池：125kW、EV：40kW × 2台
電力用途	一般家庭による自家消費

事業スキーム図



取組み事例：自然共生型宿泊施設

取組み概要

- 『自然と共存し、人に寄り沿う』自然共生型宿泊施設として、那須の森の中に、太陽光発電所を兼ねた宿泊施設「Loop Resort NASU」を構築。
- 自然と一体となる宿泊体験を通じて、アウトドアで遊んだり、森の生態を観察したりしながら、自然エネルギーについて学ぶ場となっている。
- コンセプトは「成長する森・育てる森」森本来の姿に戻しつつ建築と共存させることをテーマに掲げ、伐採は必要最低限に抑え、森本来の魅力を高めていくことを重視。また、施設の中心部に棚田のような池を配置し、この池にホテルなどの自然の生態系を呼び戻す取り組みも行っている。
- EVを活用した実証実験（V2H（Vehicle to Home）、V2L（Vehicle to Load））として施設を活用、エネマネの新しい取り組みを実現している

事業者	株式会社 L o o p
協力者	株式会社SUEP
所在地	栃木県那須郡那須町
施設名(用途)	Loop Resort NASU
スケジュール	

取組のきっかけ、課題/工夫点等

- GOOD DESIGN BEST 100、日本空間デザイン賞受賞
- 参考URL：
<https://loop.co.jp/service/ipp/loopresortnasu>



導入設備詳細

発電容量	発電設備：kW 蓄電池：
電力用途	FITによる売電

事業スキーム図

